

# 農 薬 種 類 別 一 覧 表 No.2

㊦ 宮川公昭商店

## 殺 虫 剤

	薬 剤 名	容 量	適 用 病 害 虫 ・ 特 徴	散布濃度 100L 当
殺	アデオ乳剤	100 cc 500 cc	野・果、ハモグリガ・シンクイ・ハマキ・油虫・コガナ・青虫・スリップス(アザミウマ)・ヨトウ虫・コナジラミ、モロコシのアワノメイガ等、広いスペクトル。合成ピレスロイド系(ペルメトリン)。速効性でかつ残効長い。忌避作用大きい。成虫発生期～産卵期での散布処理が効果大きい。	35 ~50 cc
	アデオ水和剤	100 g	果、同上。過度の連用は避け、違う系統の殺虫剤と体系防除する(抵抗性の問題)。接触、食毒作用。忌避作用により、産卵、食害、寄生を抑制する。浸透性、ガス作用による殺虫効果はない。	25 ~50 g
	アデオフロアブル	500 ml	果・花、同上。特にすもも類に使用。フロアブル剤で果実への汚れ少なく、葉害出にくい。ピレスロイド系の速効的ノックダウン効果と忌避作用。	70 ml
	アグロスリン乳剤	100 cc	野・花、油虫・アザミウマ・ヨトウ・オンシツコナジラミ・オオタバコガなど極めて広い殺虫スペクトラム。主として接触毒で強い殺虫力と速効性。とうもろこし、いんげんまめにも登録あり。	50 ~100 cc
	アクタラ粒剤・5	1 kg 3 kg	野・花、油虫・アザミウマ・マメハモグリ・コナジラミ・コナガ・青虫など、幅広い害虫を防除。なすの植え穴処理に最適。ネオニコチノイド・クロロチアゾール環系。初期生育期防除の土壌処理剤。床土混和処理では均一に混和。	10a当 6~9 kg 1株当 1~2 g
	アドマイヤー水和剤	100 g 500 g	野・果、油虫・ハモグリガ・アザミウマ(スリップス)・コナジラミ。特に、油虫、なすのアザミウマ用特効薬剤。土壌処理の粒剤あり(1株当1g、カメ虫にも速効性、浸透性に優れ、抵抗性難防除害虫にも効果有り。残効20日くらい。ネオニコチノイド・クロロピリジン環系、経口・経皮毒性の薬剤。効果)	50 ~100 g
	アドマイヤーフロアブル	100 ml 250 ml	野・花・果、同上。アドマイヤー水和剤のフロアブル製剤。タバココナジラミにも効果ある。モロコシ使用可。薬剤による汚れが少ないので特に野菜の果菜類に有効である。果樹への使用登録適用拡大。もも・すもも・梨等にも安心して使用できる。	20 ~50 ml
	アフーム乳剤	100 cc 250 cc	野、コガナ・青虫・ヨトウ虫・ミナキイロ&ミカンキイロアザミウマ・チャノホコリダニ・マメハモグリバエ・オオタバコガ等。リン翅目、アザミウマ類に効く神経系作用の食毒・経皮毒殺虫剤。難防除害虫、薬剤抵抗性害虫にも高い効果。3日後には「ハチ」を導入できる。モロコシ、野沢菜も使用可。	50 ~100 cc
	アブロード水和剤 アブロードフロアブル	100&500g 500ml	野・果・稲、ウンカ類・カイガラ虫・コナジラミ類・ホコリダニの若令幼虫。殺幼虫力強い成長制御薬剤(脱皮阻害剤・IBG)。害虫発生初期に散布処理する。2~3週間の持続。ネクターには葉害有り。カイガラ虫の散布適期は、5月上~下旬。秤量しやすく汚れ少ないフロアブルタイプ新発売。	50 ~100 g 100 ml
	アーデント水和剤	100 g 500 g	果・野、油虫・シンクイ・ハモグリガ・ハダニ類・アザミウマ類。新害虫ミカンキイロアザミウマ、カメ虫、ハンモンヨトウ、オオタバコガにも効果有る。浸透移行性は無い。害虫発生初期~盛期に使用する。速効性と残効性に優れるピレスロイド系(アクリナトリン)。収穫前日まで使用可。	100 g
	アルバリン顆粒水和剤	100 g	野・果・花、油虫・ハモグリガ・アザミウマ(スリップス)・コナジラミ・シンクイ・コナカイガラ・カメムシなど広範囲な用途。魚類・鳥類・天敵に安全性高く使いやすい。新規ネオニコチノイド系(テトラヒドロフラン環系)。高い浸透移行性あり速効性・残効性にも優れる。	35 ~50 g
	オルトラン水和剤	100 g 500 g	野・花・果、油虫・ヨトウ虫・青虫・コガナ・スリップス類。新害虫マメハモグリバエ、柿のカキクタアザミウマにも効果有る。浸透移行性強く持続期間長い。接触、吸収、食毒の三つの作用効果有る。ボルドーとの混用は使用直前。	100 g
	オルトラン粒剤	1 kg 3 kg	野・花、同上。水産動物に影響あるので、養殖池周辺での使用避ける。播種、定植時前後の土壌処理と葉面上散布の両方法で使用できる。	10a当 3~6 kg 1株当 1~2 g
	カスケード乳剤	250 cc	野・果・花、ハモグリガ・ハマキ・コガナ・青虫・ヨトウ・マメハモグリバエ・ハダニ類。害虫の幼虫における脱皮阻害剤。もものハモグリ・ハマキ類同時防除可能。幼虫時期に早めに使用する。浸透移行性無いので、葉裏にも十分散布する。	50 cc
	カルホス乳剤	100 cc 500 cc	野・花、青虫・コガナ・油虫・アワノメイガ・カキミガ・アメリカシロシトリ等。新害虫マメハモグリバエ、なすのタバコガにも効果有る。とうもろこしにも適す接触、食毒作用でリン翅目害虫に殺虫効果大きい。臭い少ない。	100 cc
	カルホス粉剤	1 kg 3 kg	野・稲、タネバエ・ネキリ虫・マメシンクイガ・ハンモンヨトウ・カメ虫・ニカメイ虫・イネミズゾウ虫。播種、定植時の土壌表面散布、混和処理。幼苗期の葉面直接散布で害虫防除効果。	10a当 3 ~9 kg
	コテツフロアブル	100 ml 250 ml	野・果、青虫・コガナ・アザミウマ類・ハダニ・キンモンソノガ・ヨトウ・タバコガ・サビダニ等。野菜の幼苗期には葉害出易い。もも、なし、ぶどう、柿などの果樹にも適用される。呼吸系阻害による速効的殺虫作用。成虫、幼虫共に効果有り。浸透移行性は無い。	50 ml
	スカウトフロアブル	100 ml 500 ml	果・野・花、シンクイ虫・ハマキ虫・油虫・ハモグリガ・スリップス類・ヘタ虫・コナジラミ・アワノメイガ・青虫・コガナ等。すももにも最適。前日まで使用可。速効性と残効性に優れ、汚れの少ないフロアブルタイプの合成ピレスロイド剤(トラレトリン)。忌避作用で成虫多発生時の散布処理が効果大きい。	35 ~50 ml
	スミチオン乳剤	100 cc 500 cc	果・野・稲、油虫・ハマキ虫・シンクイ虫・ハモグリガ・カイガラ虫・スリップス類・カメ虫・ニカメイ虫等。モロコシのアワノメイガにも有効。浸透移行性有り、広い殺虫スペクトルを持つ。主に接触、食毒作用。あぶらな科作物(白菜、大根、菜っば類)には葉害有り。	100 cc
	スミチオン水和剤・40	200 g 500 g	果、シンクイ虫・ハマキ虫・ハモグリガ・カキミガ・コスカシバ・カメ虫・トラカキリ・油虫・カイガラ虫類等。あぶらな科作物(白菜、大根、菜っば類)には葉害。落葉果樹の殺虫剤として使用し易い。サリチオンの代替えとして収穫後に使用できる。	100~125 g
スプラサイド乳剤・40	100 cc 500 cc	果・野・花、カイガラ虫・青虫・油虫・オンシツコナジラミ・スリップス・ロウムシ。有機リン系のカイガラ虫特効薬=散布適期は5月上旬、7月中旬、9月上旬ごろ。主に吸収毒作用。若葉の時期は特に葉害が出易いので使用しない。	70 ~100 cc	
スプラサイド水和剤	500 g	果・野・花、シンクイ虫・カイガラ虫・油虫・ハモグリガ・ハマキ虫・オンシツコナジラミ・スリップス・ロウムシ等。<梨、りんご>に適す。ただし、梨の新葉展開期(5~6月)、桃(特に西野、八幡白桃)には葉害が出易い。	50 ~ 70 g	
スピエース顆粒水和フロアブル	100 g 100 ml	野・果、コナガ・青虫・タバコガ・アザミウマ・マメハモグリバエ等。果樹ではモモハモグリ・シンクイ等(4000倍)。土壌放線菌を有効成分とする全く作物への葉害も少なく安定した効果。速効性、残効性に優れ人畜や環境に対して影響少ない。10a当 100~300L 散布。新しい系統「スピノシン系」。	20 ~ 40 g	
ゼンターリ顆粒水和剤	100 g	野、コガナ・青虫・ヨトウ虫・アメリカシロシトリ・ハマキ虫・ガ類(リン翅目害虫)。油虫、ダニには効果ない。アルカリ性薬剤、液肥との混用避ける。微生物農薬(BT剤)。人畜無害。若令幼虫に有効。抵抗性、リサージェンス心配なし。溶け易く粉立ちの少ない顆粒水和剤。蚕毒強いので注意する。	100 g	
ダイアジン水和剤・34	500 g	果・野、シンクイ虫・ハマキ虫・油虫・クワコナカイガラ虫(若令幼虫)・コナガ・青虫・ハダニ類・マメハモグリバエ。接触毒に優れるので幼虫期が最適散布時期となる。サリチオンの代替え薬剤(廉価薬剤)。5%粒剤あり、モロコシの土壌、葉茎散布処理可能。	100 g	
ダースバン水和剤・25	500 g	果、シンクイ虫・カイガラ虫・油虫・ハマキ虫・アメリカシロシトリ。りんご、梨での有機銅剤との混合は、6月以降とする。桃、すもものサリチオンの代替え薬剤として使用できる(収穫14日前まで)。	100 g	
ダントツ顆粒水溶剤	125 g	果・野、シンクイ・油・ハモグリ・コナジラミ・アザミウマ・コナカイガラ・カメ虫・マメハモグリバエ。粒剤あり、(1~2g/株)新規ネオニコチノイド系(クロロチアゾール環系)。広い殺虫スペクトル、浸透移行性。使いやすい顆粒水溶(粉立ち無く、溶けやすい)。	25 ~ 50 g	
チェス水和剤	100 g	果・野・稲、油虫・コナジラミ類・ウンカ類等の半翅目害虫、カメ虫等に選択的に優れた効果。各種作物に対して葉害無し。目に刺激性注意。新規系統の殺虫剤で、吸汁行動の害虫に適する。優れた浸透移行性あり長期間にわたり害虫密度抑える。	35 ~ 50 g	
ディブテレックス乳剤	100 cc 500 cc	果・野・稲、ニカメイ虫・ツト虫・ウンカ・カメ虫・ハマキ・コガナ・ヨトウ虫・テントウ虫・油虫・ケムシ類・アメリカシロシトリ等。食毒、接触、ガス毒の三つの殺虫作用有る。広範な害虫に有効。	100~200 cc	
デナボン・5%ベイト	2 kg	野、こおろぎ・ダンゴ虫・ネキリ虫・ハンモンヨトウ。デナボンに誘引物質を配合した大粒剤。害虫が引き寄せられ好んで食べて死亡する。持続効果長い。	10a当 3 ~6 kg	
テルスター水和剤	100 g 500 g	果、カメ虫・アザミウマ類・ハモグリガ・シンクイガ・ハマキ虫・油虫・ハダニ類。カメ虫に特効作用(持続性強い)。目に刺激性強い。速効性もあり特異な忌避作用。ハダニの異常増殖(リサージェンス)が起こりにくいピレスロイド系薬剤(ピフェントリン)。	100 g	
テルスターフロアブル	100 ml	果・野、油虫・ハダニ類。「テルスター水和剤」の代替えとなる。害虫発生初期散布で効果大きい。高濃度のフロアブル剤。薬剤による汚れほとんど無い。浸透性は無いので葉裏にも十分散布する。	25 ml	
DDVP乳剤	100 cc 500 cc	果・野・花、油虫・ハダニ類・シンクイ虫・青虫・ヨトウ虫・コガナ・ケムシ類・カイガラ虫等。ボルドー液、石灰硫黄合剤との混用不可。非常に速効性。残効短く殺虫力強い。とうもろこし、果樹等の新芽には葉害の生じることがあるので注意する。	100 cc	
トルネードフロアブル	250 ml	野、コガナ・ヨトウ虫・ハンモンヨトウ虫・オオタバコガ・シロイチモンジヨトウ虫など。害虫に効果あり、耐雨性に優れ残効有る。すぐには死がないが運動能力低下し、麻痺状態が続き死ぬ。浸透移行性乏しい。	50 ~100 ml	

虫

剤

	薬剤名	容量	適用病害虫・特徴	散布濃度 100L 当
殺 虫 剤	ハクサップ 水和剤	100 g	野、青虫・コガナ・油虫・ヨトウ虫・ハンモンヨトウ虫・オンシツコナジラミ等。大型リン翅目害虫の防除にも適す。オオタバコガの効果薬剤に新登録ピレスロイド剤とマラソンの混合剤で速効かつ残効性の強力殺虫剤。接触、吸収、食毒更に忌避作用も大きい。魚毒強いので注意する。	50 ~100 g
	パダン・SG 水溶剤	100 g 500 g	野・果・稲・花、青虫・コガナ・油虫・アワノメイガ・スリップス・ヘタ虫・コブノメイガ・ニカメイ虫・ツト虫・ハモグリ・カキホソガ・マメハモグリ等。なすに薬害新・顆粒タイプで溶け易く、計量し易く(計量キャップ)泡だちが少ない。経口作用強く食毒性害虫に効果大きい。ネトラキシン剤の特殊な殺虫作用。	70 g
	パダン粒剤・4	3 kg	野・稲、アワノメイガ・ニカメイ虫・コブノメイガ・ツト虫・ハモグリバエ等。イネミズゾウ虫にも効果優れる(稲育苗箱への施用では100g/箱、田植前7日)とうもろこしでは葉面上散布も効果有る。水田では灌水散布処理(10a当3~4kg、4~5日間止め水)。蚕に強い毒性。	10a当 3~6 kg 1株当 1~2 g
	ハチハチ乳剤	100 cc 500 cc	野・花、コナガ・青虫・油虫・アザミウマ類・ホコリダニ・マメハモグリバエ・オンシツコナジラミ等。ハクサイ、きゅうり、なす、トマト、菊などの作物。新タイプの殺虫剤。主要微小害虫【リン翅目】に対して殺卵効果ある。収穫前日まで使用可(キャベツは14日)。浸透性なし。摂食阻害効果。	100 cc
	バリアード 顆粒水和剤	100 g	果、シンクイ・ハモグリ・油虫。リン翅目吸汁の果樹害虫に高い効果。「ハチ」への影響、哺乳動物・魚介類に対する安全性。抑制して殺虫。浸透移行性と残効性。溶け易く使い易い顆粒のクロロニコチル剤(クロロピリジン環系)。害虫の神経伝達を遮断(全身麻酔・弛緩・節食・交尾産卵)	25 ~ 50 g
	プレオ ・フロアブル	100 ml 500 ml	野、青虫・コガナ・ヨトウ虫・アザミウマ・ハンモンヨトウ虫・オオタバコガ・シロイチモンジヨトウ虫。 新しいタイプの殺虫剤でリン翅目・総翅目害虫に高い防除効果。耐雨性に優れ残効ある。	100 ml
	マッチ乳剤	250 cc	野・稲、コガナ・青虫・ミカンキイロアザミウマ・ハンモンヨトウ・シロイチモンジヨトウ・オオタバコガ。大型リン翅目害虫に長期抑制優れた効果。幼虫期防除。薬害少なく安心して使用可。浸透移行製ないのだからむらの無いよう散布。アザミウマの蛹、成虫には効果なし。	50 cc
	マリックス乳剤	500 cc	野・果・花、油虫・オンシツコナジラミ・フキノメイガ・油虫・ヨトウ虫・カメ虫・ヘタ虫・コガナ等。ホコリダニ・アザミウマにも効果大きい。有機塩素系の薬剤。残効長く、接触、吸収、食毒の三つの殺虫作用。魚毒非常に強いので注意。桃の休眠期防除では150倍で使用する。	125~200 cc
	マイクロデナポン 水和剤・85	500 g	野・果・花、ヨトウ虫・油虫・青虫・テントウ虫・シンクイ虫・カイガラ虫・ハマキ・ブドウスカシバ。新害虫マメハモグリバエに効果有る。残効性に優れるカーバメート系薬剤。食毒、接触毒で幅広い効果。柿の若葉には薬害あるので注意する。	70 ~125 g
	モスピラン 水溶剤	100 g 250 g	野・果・花、半翅目=油虫・オンシツコナジラミ・カイガラ虫、鱗翅目=コガナ・ハモグリ・シンクイ、鞘翅目=カミキリ虫、アザミウマ目 等広い殺虫スペネオニコチノイド系殺虫作用の薬剤で、既存の薬剤の抵抗性害虫にも有効。適用作物も多く、速効性で強い浸透性も有る。粒剤あり効果高い。クトル	25 ~ 50 g
ラービン ・フロアブル	500 ml	野・果、青虫・ヨトウ虫・ハマキ虫・シンクイ虫等。新害虫オオタバコガにも効果有る。鱗翅目害虫に食毒作用に優れる。残効長い。もも、なし、柿などに使用できる。石灰硫黄合剤、ボルドー液のアルカリ薬剤との混合は避ける。	100~135 ml	
ランネット・45 DF	100 g	野、油虫・青虫・ヨトウ虫・コガナ・カメ虫・ハンモンヨトウ。新ドライフロアブルタイプ。 カーバメート系強力殺虫剤。分解早く残効短い。主に接触毒作用。毒物なので性能の良いマスクをして十分注意すること。	100 g	

## ◆◆◆ 注 記 ◆◆◆

- 散布濃度は一応の目安です。実際の散布では『適用作物・希釈倍率・使用時期(収穫前)・散布総回数』など薬剤にある説明書き及び注意書きを良く読み、それらの決まりを必ず守ってください。
- 本表に掲示してない薬剤については、当店にお尋ねください。
- 表中の「野 果 稲 花」は、次のような意味を持ちます。なお、各適用作物の種類の詳細は薬剤の説明書きにしたがって下さい。

野；主に野菜に適する薬剤

果；主に果樹に適する薬剤

稲；主に水稲に適する薬剤

花；主に花きに適する薬剤